屋内　屋外

雨天時可能

カテゴリー
震災の教訓

催行期間
通年

キーワード
ロールプレイング
防災
体験談

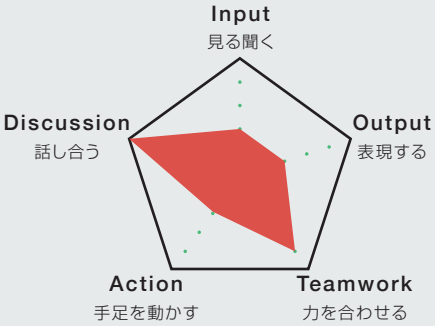
ナンバー
A-04

所要時間
4時間

災害時シミュレーションプログラム

復興途中の南三陸町の航空写真

学びのポイント



災害時において、自ら考え、
対処することの大切さを学ぶ

ロールプレイング中の参加者

ディスカッションの様子

ディスカッション中の参加者

概要　首都直下型地震発生時をシミュレーションします

首都直下型地震を想定し、シミュレーションするプログラムです。
もし、あなたが大学にいるときに首都直下型地震が起こったら…そして、そのままそこが避難所になったら…あなたはどんな行動をとりますか?シミュレーション後は、実際に避難所を経験した地元住民の方に実体験を語ってもらいます。
ノウハウを学ぶのではなく、心構えをすることで災害に備えるプログラムです。

タイムスケジュール

0:00 ～ 0:05	東日本大震災の映像を視聴
0:05 ～ 1:00	グループワーク 「地震が起こった直後の状況をイメージする」
1:00 ～ 1:30	ロールプレイング 「避難所となった体育館で一晩過ごす」
1:30 ～ 3:00	ディスカッション 「一ヶ月間の避難所生活で起こりうるトラブルに対処する」
3:00 ～ 4:00	避難所経験者の体験談、まとめ

インフォメーション

所要時間	4時間
催行期間	通年
最少催行人数	10名
最大人数	30名
フィールド	入谷地区
持ち物	筆記用具

講師紹介

地元住民の皆さま

東日本大震災で避難所生活を経験された住民の皆さま。自治会の運営に苦労したり、支援者と繋がって全国に仲間ができたり・・・。
長い方では 5ヶ月間もの避難生活を乗り越えてこられました。避難所のこととなると話は尽きない方々です。

留意事項

・場所は南三陸まなびの里いりやどの他、ご希望の場所で実施可能です（プロジェクター、スクリーン、スピーカー、ある程度動き回れるような広いスペース必要）。広い会議室などがベストです。

© 2015年11月　一般社団法人南三陸研修センター